

平成26年12月5日  
近畿中部防衛局

## 環境調査における計測値について

近畿中部防衛局においては、住民の更なる安全・安心の確保のため、騒音、電波、排水による海への影響の3項目について、米軍経ヶ岬通信所の運用開始前後のデータを比較・検証するための調査を実施しています。

本件環境調査の結果は、今後、継続して複数回の調査を実施した後に得られるものですが、今般、平成26年8月及び10月に実施した調査における計測値について、別紙のとおりお知らせします。

## 騒音度調査計測値

- 1 調査日：平成26年8月30日(土)～31日(日)
- 2 調査場所：経ヶ岬通信所周辺地域3箇所  
(袖志農民研修施設、穴文殊バス停付近及び尾和区有地)
- 3 調査内容：1900～翌日1900までの24時間測定
- 4 計測値：下表のとおり

(単位: dB)

昼夜別	運用前		
	第1回計測値 (26. 2. 25～26)	第2回計測値 (26. 5. 14～15)	第3回計測値 (26. 8. 30～31)
昼間値 (0600～2200)	53. 1～58. 0	50. 8～59. 1	60. 2～63. 4
夜間値 (2200～0600)	48. 0～50. 8	44. 7～50. 2	54. 0～57. 4

※参考 騒音の目安(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

30～40dB: 山村の田畑、山間の戸建住宅地(昼間)、町の戸建住宅地(夜間)

40～50dB: 図書館館内、霊園(昼間)、町の戸建住宅地(昼間)

50～60dB: 役場・郵便局の窓口周辺、博物館館内、書店店内、海辺

60～70dB: 一般道路周辺(夜間)、ファミリーレストラン店内、バス車内

70～80dB: 幹線道路周辺(昼間)、在来鉄道車内、航空機内、蝉の声

80～90dB: ゲームセンター店内、パチンコ店内

## 電磁界強度調査計測値

- 1 調査日：平成26年10月20日(月)
- 2 調査場所：経ヶ岬通信所周辺地域3箇所  
(レーダー設置正面海上1箇所、袖志区及び尾和区の陸上各1箇所)
- 3 調査内容：各調査場所における電力密度を計測
- 4 計測値：下表のとおり

(単位:mW/cm<sup>2</sup>)

電波防護指針値	運用前		
	第1回計測値 (26. 3. 19)	第2回計測値 (26. 7. 28)	第3回計測値 (26. 10. 20)
1以下	0.00~0.09	0.00	0.00

## 水質調査計測値

- 1 調査日：平成26年10月17日(金)
- 2 調査場所：経ヶ岬通信所周辺海域3箇所(尾和区1箇所、袖志区2箇所)
- 3 調査内容：下記項目について計測
- 4 計測値：下表のとおり

項目	単位	環境基準値	運用前		
			第1回計測値 (26. 3. 19)	第2回計測値 (26. 7. 28)	第3回計測値 (26. 10. 17)
水素イオン濃度 (pH)	pH	7. 8以上 8. 3以下	8. 1	7. 0~7. 5	8. 2
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	2以下	1. 0~1. 6	1. 1~1. 2	0. 9~1. 2
ノルマンヘキサン抽出物質 (油分等)	mg/L	検出されないこと	不検出	不検出	不検出
大腸菌群数	MPN/ 100mL	1000以下	2未満	45~220	2未満
全窒素	mg/L	0. 3以下 (年間平均値)	0. 17~0. 26	0. 13~0. 16	0. 10~0. 13
全磷	mg/L	0. 03以下 (年間平均値)	0. 016~0. 027	0. 01~0. 014	0. 009~0. 013
溶存酸素量 (DO)	mg/L	7. 5以上		6. 6~7. 6	7. 7~8. 1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	2以下 (河川に係る基準値)	0. 9~1. 5	1. 1~1. 5	1. 0~1. 1
浮遊物質量 (SS)	mg/L	2. 5以下 (河川に係る基準値)	1~2	2	3~4

溶存酸素量(DO)は、運用前第2回調査から調査項目に追加